

() は品川が取り組んできたこと

〈必要となる条件〉

(1) 指導内容、教材、指導方法、指導形態の開発や改善

- ① 基礎学力の定着に向けて
(教科担任制、授業時数の増、学力調査による検証)
- ② 個に応じ、個を大切にす指導に向けて
(習熟度別学習、少人数指導、ステップアップ学習等)
- ③ 豊かな思考力育成に向けて (問題解決学習、体験活動)
- ④ 今後必要とされる学力に関して (系の学習、市民科、英語科)
- ⑤ カリキュラム開発 (カリキュラム・マネジメント)

教員の
カリキュラム開発能力
教材開発能力

(2) 学校の社会的位置付けに関する見直し

- ① 公立義務教育学校の質的転換と信頼回復に向けて
(学校選択制、外部評価制度、プラン21予算措置)
- ② 特色ある学校教育の実現のために
(学校選択制、小中連携教育)
- ③ 規則基盤型学校経営から成果基盤型学校経営への脱皮に向けて
(外部評価制度、学力定着度調査、民間ナレッジの活用)

教員の意識改革
管理職の資質向上と
経営能力開発

(3) 学校教育制度の在り方に関する見直し

- ① 六・三制の弾力的運営に向けて (小中一貫教育、義務教育学校)
 - ② 教育委員会の活性化に向けて (地方基準の作成
: 小中一貫教育要領)
 - ③ 地方教育行政の独自性に向けて (品川区固有教員)
- ☆ 多様な運営主体による学校設置に向けて

教育委員会および
事務局の能力開発